

環境経営レポート

(2019年1月1日～2019年12月31日)

2019年度版



発行日：2020年3月1日

丸和熱処理株式会社



CONTENTS

- ごあいさつ p2～p3
- 1. 環境経営目標方針 p4
- 2. 組織の概要 p5
 - 《2-1》事業者名
 - 《2-2》対象事業所
 - 《2-3》事業の概要
 - 《2-4》事業の規模
- 3. EA21推進委員会 p6～p9
 - 《3-1》EA21推進委員会の構成
 - 《3-2》主な環境経営内容
 - 《3-3》EA21推進委員会の活動内容
- 4. 環境経営目標 p10～p12
 - 《4-1》環境経営目標項目の選定
 - 《4-2》環境負担の実績
 - 《4-3》環境経営目標（単年度・中期）設定
 - 《4-4》2019年度（取組対象期間）環境経営目標値
- 5. 環境経営目標の実績（2019年1月～12月） p13～p18
 - 《5-1》二酸化炭素排出量
 - 1) エネルギー合計 2) 電力 3) ガソリン、軽油
 - 4) 灯油 5) LPG、重油 6) 廃棄物排出量 7) 総排水量
 - 8) 化学物質使用量（天童工場） 9) 化学物質使用量（山形工場）
 - 10) 化学物質使用量（研磨部）
 - 《5-2》グリーン購入推進
 - 《5-3》熱処理現場・サービスにおける環境配慮
 - 《5-4》環境保全団体への支援・協力
- 6. 環境経営計画の取組結果の評価ならびに次年度の取組内容 p19～p20
 - 《6-1》環境経営計画の取組状況の評価
 - 《6-2》次年度の取組内容
- 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無 p21
- 8. 代表者による全体評価と見直しの結果 p21
 - 《8-1》環境経営システムが有効に機能しているか
 - 《8-2》環境への取組は適切に実施されているか

ごあいさつ

日頃より弊社をご愛顧下さいまして、誠にありがとうございます。
います。

弊社は1973年、丸和工業株式会社として創業以来、永きに
亘り金属熱処理業に携わって参りました。

今日まで歩みを止めずに成長してこられましたのも、ひと
えに皆様のご支援、ご協力の賜物と、深く感謝致しております。

金属熱処理は、人々の生活を支えるために必要不可欠な技
術として、古来より伝承されてきました。

そして現代社会で活躍する様々な機械・器具にも、厳しい
品質基準をクリアした熱処理製品が数多く使われております。

私以下社員一同、ものづくりの根幹を担う重要性と、その
責任の重さを常に自覚し、信頼品質、技術向上、短納期、原
価低減、環境負荷低減を実現して参ります。

皆様、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



充実の設備と豊富な知識で
様々なニーズに

応えます。

代表取締役社長
後藤 章洋

1. 環境経営方針

【環境・企業理念】

私たち丸和熱処理株式会社は、金属及び非鉄金属熱処理、金属表面処理、金属研磨加工等の事業内容であり、環境に負荷を与えながら事業活動を行っています。その上で、環境と事業活動の調和に努め、環境保全を重要課題として捉え、保護活動に積極的に努力します。

また、ものづくりの根幹を担う企業として、その重要性和責任の重さを常に自覚し、信頼品質、技術向上、短納期、原価低減、環境負荷低減を実現して参ります。

【行動指針】

- 1) 事業活動を通じて環境に与える負荷を的確に把握し、環境影響の低減及び維持、汚染の防止に努めます。
- 2) 省資源・省エネルギー・リサイクル・廃棄物の削減に事業活動を通じて取り組みます。
- 3) 環境に関する法令・条例・協定及び要求事項を厳守します。
- 4) 地域の環境保全活動を支援していきます。
(山形エコアクション21対応)
- 5) 環境負荷の継続的改善のため、環境目的・目標を定め、定期的に見直しを行います。
- 6) 製品輸送の環境改善に努めます。
- 7) 環境方針を制定、文書化し、全従業員に配布して、周知徹底を図ります。
- 8) 人体や環境へ影響を与える可能性のある化学物質の使用量及び排出量を削減します。
- 9) 環境に配慮したグリーン購入対象商品の比率向上に努めます。
- 10) 日々、品質異常発生防止活動を行い、高品質維持に努めます。
- 11) この環境方針は社内外に公表します。

制定日：2011年9月1日
最終改訂日：2019年12月1日
丸和熱処理 株式会社
代表取締役社長 後藤 章洋

2. 組織の概要

《2-1》事業者名

丸和熱処理株式会社
代表取締役社長 後藤 章洋

《2-2》対象事業所(所在地/連絡先)

【本社・天童工場】〒994-0069 山形県天童市清池二丁目8番20号 電話:023-655-2880(代) FAX:023-655-5203 敷地:2,765m ² 建物:2,474m ²	【山形工場】〒990-2338 山形県山形市蔵王松ヶ丘一丁目2番3号 電話:023-689-1230 FAX:023-695-3055 敷地:11,220m ² 建物:2,904m ²
---	--

【研磨部】〒990-2211 山形県山形市大字十文字字斐窪北3455-84

電話:023-686-4060 FAX:023-686-4064
敷地:1,072m² 建物:212m²

《2-3》事業の概要

金属製品のガス浸炭焼入、ガス浸炭窒化焼入、ガス浸炭窒化焼入、焼入焼戻し、ガス軟窒化、真空焼入、析出硬化処理、安定化処理(サブゼロ)、高周波焼入、パーコリュウブライト、アルカリ黒色着色、光輝熱処理全般、アルミ溶体化処理、時効硬化処理、研磨

【雰囲気熱処理(バッチ型)】



900~930℃の高温で表面から炭素を入れていく表面硬化法です。表面は高硬度でも内部は柔軟性があるため、衝撃を受けても割れにくいのが特長です。

【雰囲気熱処理(ピット型)】



鋼の結晶粒を微細化し、機械的性質を高める焼ならしや、鋼の軟化、内部応力の除去などを目的とする焼なまし、そして、長物の焼入、焼戻に対応しています。

【高周波焼入処理】



コイルによる高周波電流の誘導加熱を利用して、部品の表面のみを焼入れする加工法が、高周波焼入です。必要な箇所への焼入れを短時間で行うことができ、焼入れ深さの調節も自在に行えます。

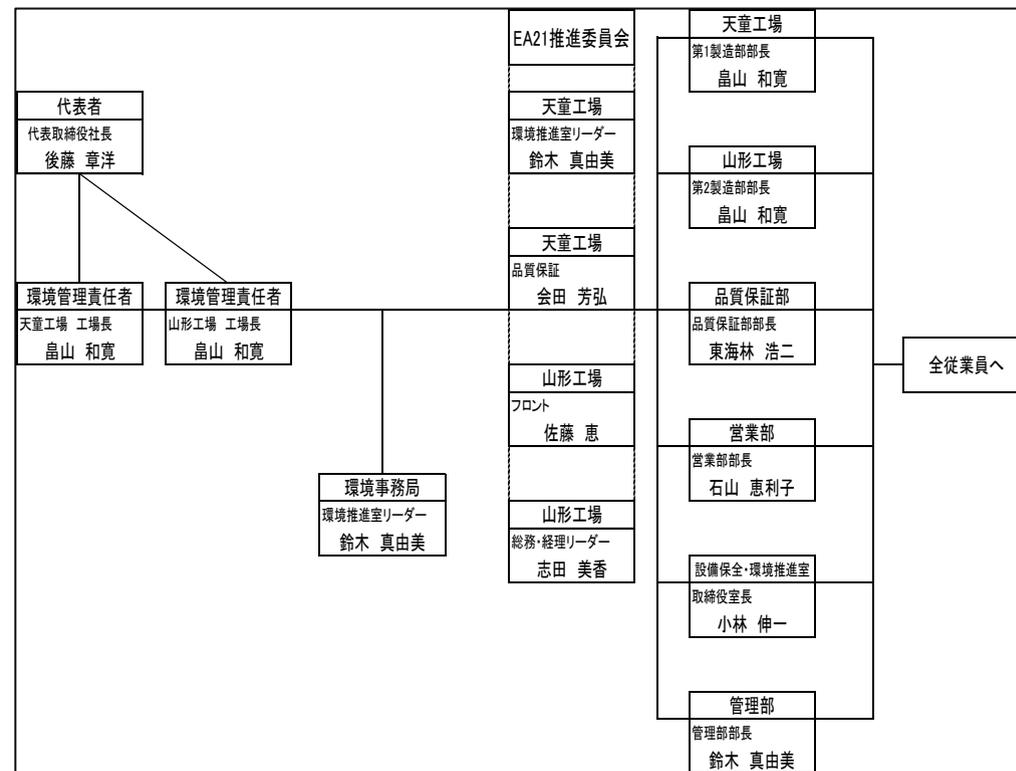
《2-4》事業の規模

創業：1973年(昭和48年8月) 資本金：5,000万円

事業年度	2017年(基準年度)	2018年	2019年
売上金額	59,600万円	66,600万円	57,200万円
従業員数	64名	64名	66名

3. EA21推進委員会

《3-1》EA21推進委員会の構成



《3-2》主な環境経営内容

1) 二酸化炭素排出量の削減

- ①消費電力の削減
 - 早朝、照明器具の消灯
 - NG発生ゼロ
 - 照明器具の省エネ化
 - 炉の運転効率を上げる(1回の運転時間の見直し)
 - 可能な設備へタイマーを設置し、機械類の不要な運転を無くす
 - 待機電力の削減(退社時、ポット、ヒーター等の電源プラグを抜く)
- ②消費燃料の削減
 - 炉のパイロットバーナーの数を半分に減らして稼働(継続)
- ③エコ運転の実施
 - エコドライブ研修会の開催
 - アイドリング停止の徹底
 - 営業車両の燃料使用量上限値の目標設定(月目標。エコドライブと効率良いコースの走行で燃料削減に努める)

2) 廃棄物排出量の削減と適正管理

- ①一般廃棄物削減
 - 分別の徹底
 - パレットの有効活用(お客様⇄弊社間で効率良くリサイクル使用)
 - コピー数量の削減、縮小コピーの推進
- ②リサイクルの促進
 - コピー用紙の両面使用
 - 金属類や紙類など、廃棄せずにリサイクル業者へ回収依頼
 - コピー用紙の再利用後の再々利用(梱包材、生ゴミ処分時の包装紙等)
- ③産業廃棄物の適正管理
 - 保管場所の管理
 - マニフェスト・契約書類の管理
 - 産廃処分場の確認

3) 総排水量の削減

- ①上水(水道)使用量の削減
 - 冷却用水槽の節水
 - 手洗い時の節水(掲示及び月1回呼びかけ)
- ②地下水の適正利用
 - 水量計を利用し、適正使用を維持する

4) 化学物質使用量の削減

- 化学物質適正使用量の数量確認
- トリクレン、AYクリーン、ノリタケール他を削減

5) グリーン購入

- 「既存品を長持ちさせて使おう」呼びかけ(朝礼での啓蒙、掲示)
- 作成済みの事務用品グリーン購入対象品リストを活用、レギュラー購入の継続
- 営業車両の適切な管理、整備(日次、週次、月次メンテナンス)
- 環境に配慮した車両の購入

6) 製品・サービス関連

- ①NG発生ゼロ
- ②リサイクル梱包材の積極活用
 - 製品梱包時に使用する資材に、極力再利用品を使用する
- ③業務の効率化、無駄の排除
 - 基準書を作成・活用する
- ④納期厳守
 - 納期トラブルをなくし、顧客ニーズに応えるとともに、無駄なエネルギー消費を発生させない

7)山形エコアクション21関連

①山形県環境保全協議会
■継続入会

②山形県環境保全協議
■山形県みどり推進機構
2014年3月より飲料自販機による
緑の募金実施(全事業所)
2019年度累計募金実績 ￥25,714円

③地産地消
■山形県産のものを積極的に利用・エコバッグ推進の呼びかけ
《社員の昼食用仕出し弁当に、地産地消を取り入れている業者様を選定。》
★地元(国産)の野菜を豊富に使用 ★米は「はえぬき100%」使用!

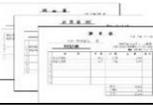
④講習会 エコドライブ、熱中症、有機溶剤取り扱いについて、等

※但し、2019年度は環境ボランティア活動への参加ができなかったため、次回の課題とします。

《3-3》EA21推進委員会の活動内容

2011年より古紙リサイクルに取り組んできました。
社内で発生した古紙の他、営業担当者が、お取引先様から伝票ミミを回収し、リサイクルに加えています。

【分別方法】

コピー用紙	雑紙・納品書類	伝票(両端面)	トレットペーパーの芯
			
ガムテープ	チラシ・雑誌類	新聞紙	
			



月1回の社内全体集会で、EA21の発表コーナーを設け、活動を根付かせています。

1月…全体集会なし 初祈願祭・社長訓示	7月…社内キャンペーン 「節電だヨ! 全員集合」 参加者募集告知
2月…2018年度の環境経営目標 達成状況の報告	8月…第2四半期の環境経営 目標達成状況の報告
3月…エコドライブ講習会	9月…弊社に關係する關係法令 について
4月…保護具の役割についての 講習会	10月…山形県のキャンペーン 「家庭のアクション」 参加者募集告知
5月…EA21中間審査に向けて、 取り組み事項の確認	11月…第3四半期の環境経営 目標達成状況の報告
6月…第1四半期の環境経営 目標達成状況の確認	12月…女川原子力発電所見学 レポート発表

4. 環境経営目標

《4-1》環境経営目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェックならびに環境経営目標方針との整合性を図り、山形エコアクション21対応項目を含む次の6項目について、環境経営目標を設定しました。

- (1)二酸化炭素排出量削減 (2)廃棄物排出量削減 (3)総排水量削減
 (4)化学物質使用量削減 (5)グリーン購入推進 (6)熱処理現場・サービスにおける環境配慮 (7)環境保全団体への支援・協力

《4-2》環境負荷の実績（全事業所合計）

（2019年1月～12月弊社における主な環境負荷の実績は下表に示す通りです。）

項目	2019年1月～2019年12月		
	CO2排出量 (kg-CO2)	割合	用途
二酸化炭素排出量	電力	3,035,007.89	88.7% 熱処理炉
	ガソリン	31,819.96	0.9% フォークリフト燃料
	軽油	248,968.19	7.3% トラック燃料
	灯油	37,242.93	1.1% 暖房燃料
	A重油	31,154.16	0.9% 表面処理槽の昇温
	液化石油ガス (LPG)	36,182.57	1.1% 炉内の炭素濃度調整
	エネルギー合計	3,420,375.70	100.0%

購入電力の二酸化炭素排出係数は、2018年度東北電力の調整後のもの、0.528 (Kg-CO₂/kWh) を使用します。

《4-3》環境経営目標（年度・中期）設定

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、排水量（水使用量）、グリーン購入、製品サービスに係る環境負荷の削減の、2019年の単年度目標ならびに中期目標を下記のように設定しました。（※基準年は2017年度です）

	単年度目標	中期目標
	2019年度(1月～12月)	2020～2024年度 (5年間)
■二酸化炭素排出量	基準年度実績値の 3%削減	基準年度実績値の 3%削減
■産廃物排出量	基準年度実績値の 1%削減	基準年度実績値の 2%削減
■総排水量(水使用量)		
1)上水	基準年度実績値の1%削減	基準年度実績値の 3%削減
2)地下水	基準年度実績時の20%削減	基準年度実績値の維持
■化学物質使用量		
1)トリクレン	基準年度実績値の1%削減	基準年度実績値の3%削減
2)AYクリーン	基準年度実績値の維持	基準年度実績値の維持
3)ノリタケクール	基準年度実績値の25%削減	基準年度実績値の維持
■グリーン購入の推進	エコ事務用品 購入率:60%以上	エコ事務用品 購入率:70%以上
■熱処理現場 ・サービス環境配慮	近隣住民・得意先からの 環境クレーム:0件 品質異常発生:0件 環境関連書類:期限までに 100%提出	近隣住民・得意先からの 環境クレーム:0件 品質異常発生:0件 環境関連書類:期限まで に100%提出
■山形エコアクション21 関連	主催行事等に 5件以上参加	主催行事等に 5件以上参加

《4-4》2019年度（取組対象期間）環境経営目標値

2017年度の実績値を基準に、2019年度（1月～12月）の具体的目標値に下記のように算出しました。購入電力の二酸化炭素排出係数は、2018年度東北電力の調整後のもの、0.528 (Kg-CO₂/kWh) を使用します。

	2017年度実績 (1月～12月)	2019年度目標 (1月～12月)
■二酸化炭素排出量		
1) 電力	3,044,383kg-CO ₂	2,953,052kg-CO ₂
2) ガソリン	31,995kg-CO ₂	31,356kg-CO ₂
3) 軽油	246,560kg-CO ₂	241,629kg-CO ₂
4) 灯油	49,888kg-CO ₂	46,321kg-CO ₂
5) LPG	38,595kg-CO ₂	37,824kg-CO ₂
6) 重油	35,420kg-CO ₂	34,358kg-CO ₂
■廃棄物排出量		
1) 一般廃棄物	6,440kg-CO ₂	6,118kg-CO ₂
2) 産業廃棄物	93,607kg-CO ₂	92,671kg-CO ₂
■総排水量(水使用量)		
1) 上水	6,169m ³	6,107.7m ³
2) 地下水	11,045m ³	8,836m ³
■化学物質使用量		
1) PRTR対象化学物質他	35,744kg (天童)	35,387kg (天童)
2) AYクリーン	2,200ℓ (山形)	2,200ℓ (山形)
3) ノリタケクール	160ℓ	120ℓ (研磨部)
■グリーン購入の推進	エコ商品購入率57%	エコ商品購入率60%以上
■熱処理現場 サービス環境配慮	顧客からの 環境クレーム・NGゼロ件	顧客からの 環境クレーム・NGゼロ件
■山形エコアクション21関連	5件以上実施	5件以上実施

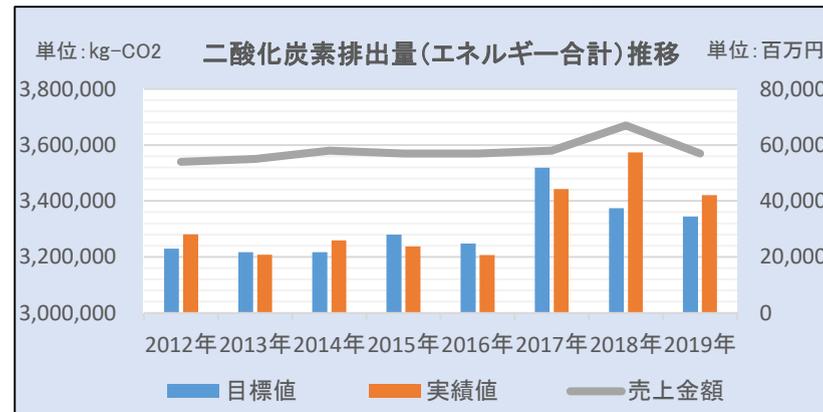
5. 環境経営目標の実績（2019年1月～12月）

2017年度（基準値）に対して2019年度までの実績比較

※2017年度より、目標・実績値に、研磨部の値が追加されています。（EA21に初加入）

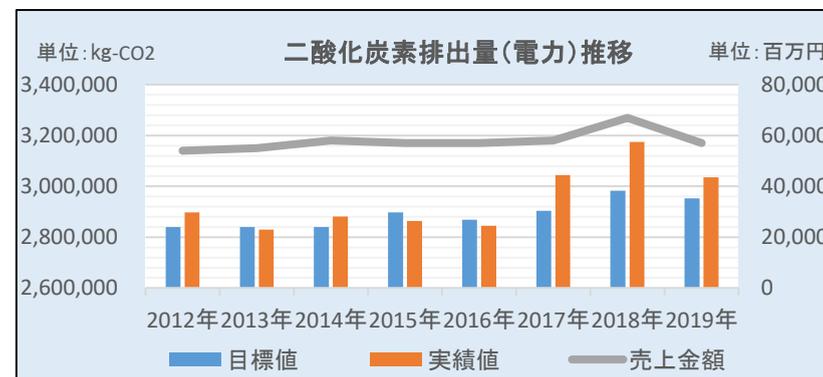
《5-1》二酸化炭素排出量

1) 二酸化炭素排出量（エネルギー合計）（単位：kg-CO₂）目標未達成×



二酸化炭素排出量の環境経営目標値は、各種エネルギーの消費状況と妥当性を見ながら、「基準年度（2017年度）実績値の3.0%削減」をめざしましたが、結果は目標対比で2.3%増となり、環境経営目標は未達成となりました。

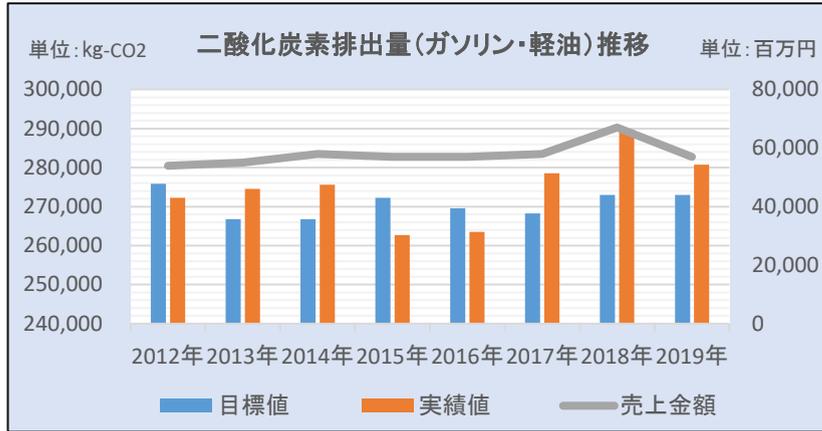
2) 二酸化炭素排出量（電力）（単位：kg-CO₂）目標未達成×



電力による二酸化炭素排出量は、目標対比で2.8%増。事業所別では、天童工場が7.6%増、山形工場が3.5%減、研磨部が11.0%増でした。デマンド管理により、使用電力の上限値を超えないように徹底されていますが、熱処理炉は電気を動力としており、24時間稼働のため、思うように削減ができず、目標未達成となりました。研磨部の増も、稼働時間を増やしたことが影響しています。

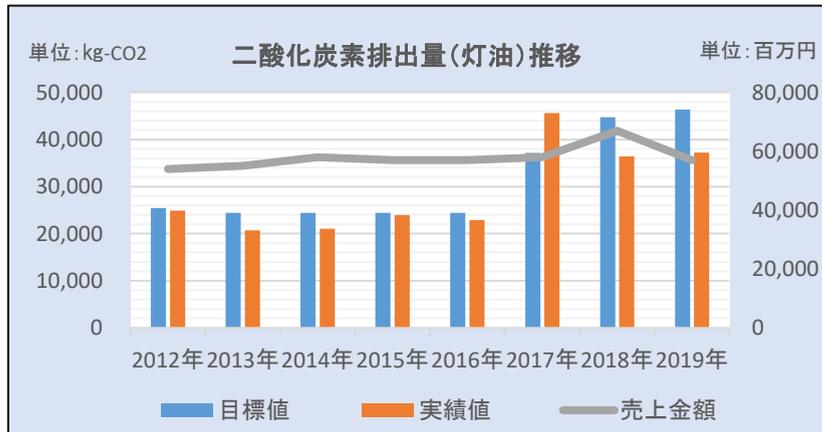
※購入電力の二酸化炭素排出係数は、2018年度東北電力の調整後のもの、0.528 (Kg-CO₂/kWh) を使用します。

3) 二酸化炭素排出量（ガソリン、軽油）使用量（単位：kg-CO₂）目標未達成×



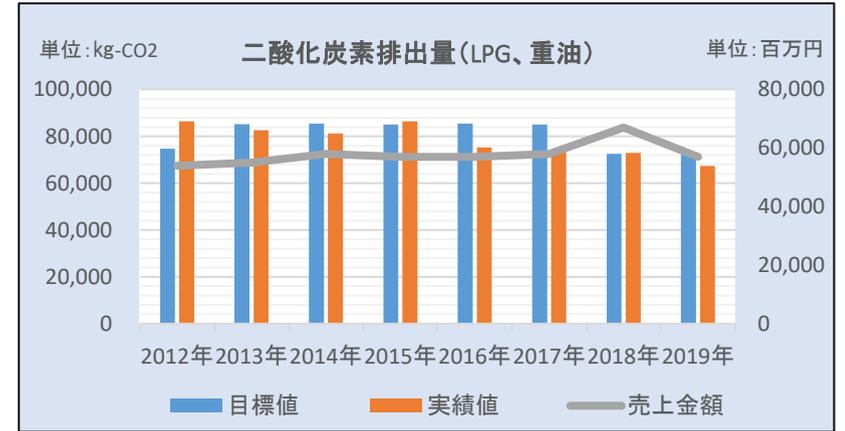
ガソリンは、主にフォークリフトの燃料ですが、目標に対し1.5%の増で、目標未達成となりました。3事業所のうち、研磨部が13.4%増と、一番増加しておりましたが、ちょうど年度の最初と最後のタイミングでの購入があり、前後の年と平均すれば適切な購入量でした。軽油は主に集配トラックの燃料ですが、3.0%増となりました。レンタカーの使用や、集配頻度が増えたことが影響していると言えます。

4) 二酸化炭素排出量（灯油）（単位：kg-CO₂）目標達成◎



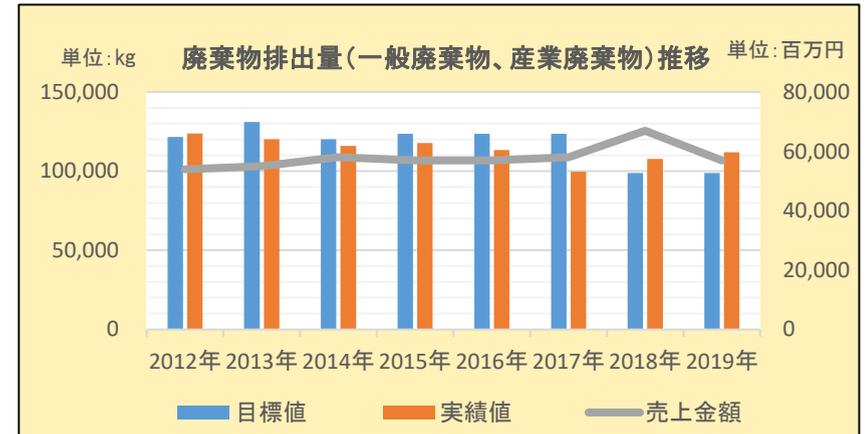
灯油は、冬場の暖房の燃料なので、暖冬か厳冬かで使用量が大きく変わります。2019年度は暖冬小雪傾向で、目標に対し19.6%減となり、目標達成となりました。

5) 二酸化炭素排出量（LPG、重油）（単位：kg-CO₂）目標達成◎



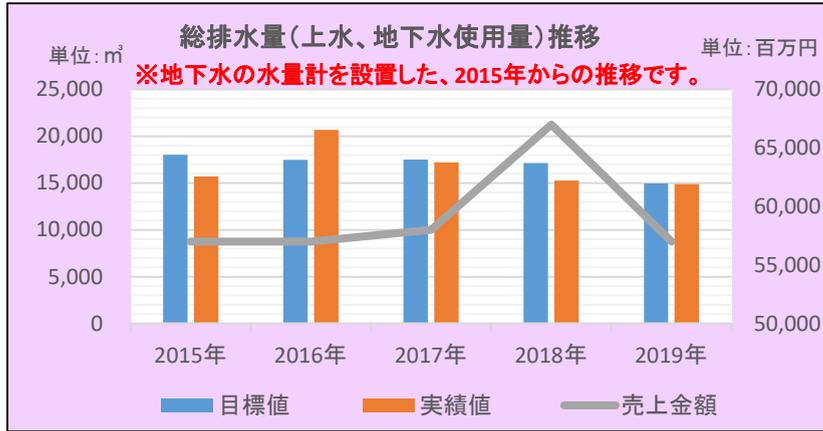
LPGは、主に熱処理炉の炭素濃度を調整する役割を担いますが、4.3%の減となり、目標達成となりました。重油は、表面処理槽の液を温める燃料であり、9.3%の減となりました。年間通して気温が高かったことも使用量減に影響していると思います。

6) 廃棄物排出量（単位：kg）目標未達成×



一般廃棄物は、事業所から出る燃えるごみですが、目標対比で6.2%増で、目標未達成となりました。2019年より、外部講師を招いて事業所内の5Sや安全の見直しを行っており、不要品を廃棄したことが影響しています。一方で、コピー用紙の両面使用や梱包資材のリサイクルは徹底されています。産業廃棄物は、主に表面処理の水処理設備から排出される廃棄物ですが、目標対比10.7%増となり、目標未達成となりました。水処理設備にトラブルがあったことも影響しています。

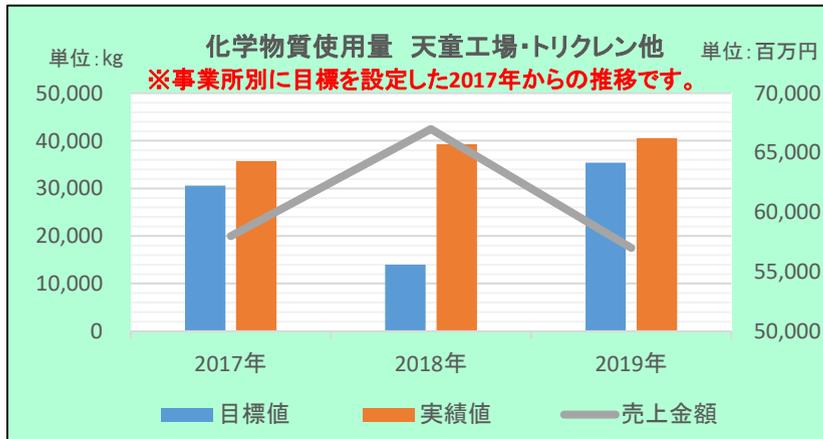
7) 総排水量（上水、地下水使用量）（単位：m³）
 上水…目標未達成×、地下水…目標達成◎



上水は、主に各設備の冷却に使用していますが、目標対比で18.3%増となり、目標未達成でした。事業所別で見ると、山形工場は4.0%減と目標を達成した一方で、天童工場が19.3%増、研磨部が4.5%増で目標未達成となりました。増えた要因は、水槽や配管からの水漏れなど設備トラブルにも起因しています。設備の要望保全が今後の課題です。

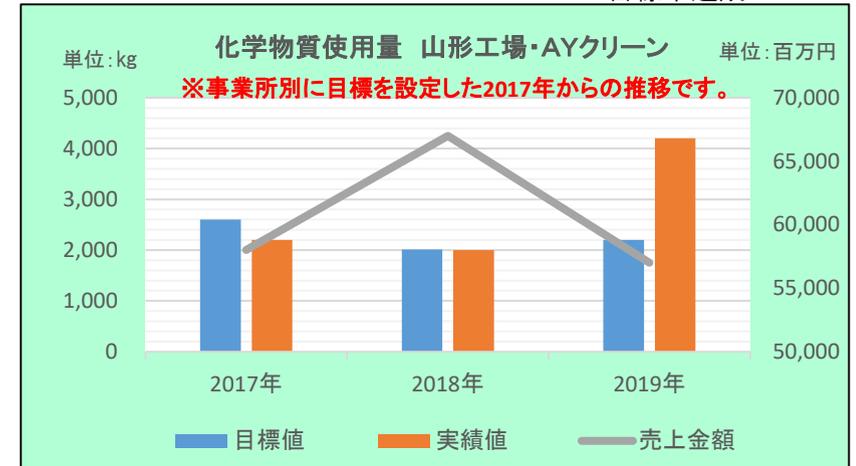
地下水は、各設備の冷却と、社有車の洗浄水として、山形工場のみで使用していますが、目標対比で33.4%削減に成功し、目標達成となりました。

8) 化学物質使用量（天童工場・トリクレン他）（単位：kg）
 目標未達成×



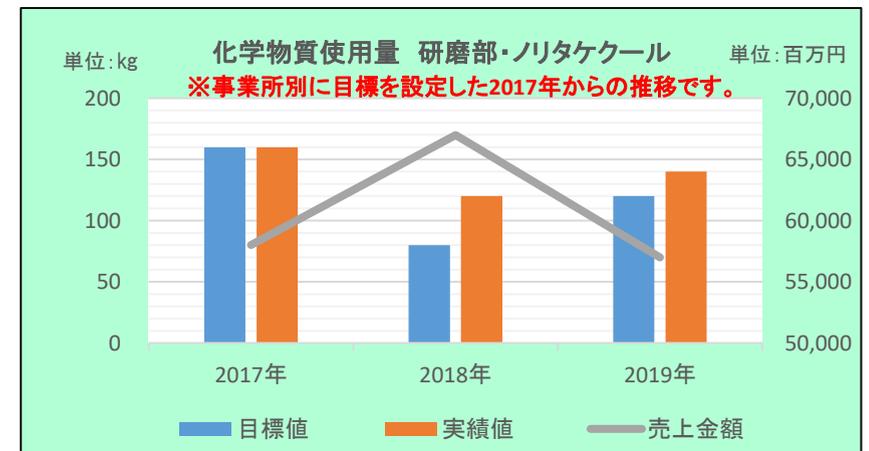
天童工場は、化学物質として、洗浄剤のトリクレン他、黒染加工の薬剤とその水処理に必要な薬品の使用量を把握していますが、目標対比で14.6%増となり、目標未達成となりました。要因としては、黒染の受注量増に伴い、水処理薬剤も増えたためです。

9) 化学物質使用量（山形工場・AYクリーン）（単位：kg）
 目標未達成×



山形工場は、化学物質として、洗浄剤のAYクリーンの使用量を把握していますが、目標対比で90.9%増となり、目標未達成となりました。目標の2倍近い実績値となりました。要因としては、洗浄機の故障が影響しています。

10) 化学物質使用量（研磨部・ノリタケール）（単位：kg）
 目標未達成×



研磨部は、化学物質として、研削油のノリタケールの使用量を把握していますが、目標対比で16.7%増となり、目標未達成となりました。要因としては、新装置導入に伴い研磨部の装置稼働時間が増大したことが挙げられます。

《5-2》グリーン購入推進

事務用品購入…目標未達成×、車両購入…目標達成◎

グリーン購入について、目標は「事務用品購入において、金額ベースで60%以上を環境配慮商品にすること」及び「営業集配トラックの適切整備、環境基準重視での車両購入」と設定しました。事務用品のグリーン購入は、グリーン購入できるものをリスト化し、それに基づいた購入を行ったものの、2019年度を終えて購入率は3事業所合計で56.9%となり、目標未達成となりました。一方で、トラック整備・車両購入については、適切な整備が日々行われ、2019年に新規購入した集配トラック2台が、環境に配慮された車両であり、目標を達成しました。

《5-3》熱処理現場・サービスにおける環境配慮 目標未達成×

目標は、処理品におけるNG発生ゼロ、環境におけるクレームゼロです。これは妥協することのできないものです。2019年度を終えて、処理品NGゼロについては、天童工場NG52件、山形工場NG15件、合計で67件と、残念ながら目標未達成でした。環境におけるクレームゼロについては、近隣住民や得意先などからのクレームもなく、目標達成しました。取引先や官公庁より提出を求められた環境関連書類なども全て期限までに提出され、車両の油漏れ、液漏れなどにも日頃から注意を払っています。

《5-4》環境保全団体への支援・協力 目標達成◎

目標は、環境保全団体への支援・協力等5件以上実施に取り組み、2019年度を終えて、実施件数は5件となり、目標を達成しました。予め実施が見込まれるイベントをピックアップし、社内に参加を呼びかけました。実施の内訳は、①飲料自販機利用による「緑の募金」活動（募金実績金額・年間25,714円）、②地産地消エコバッグ推進、③山形県環境保全協議会への継続入会、④社内節電キャンペーンの実施、⑤自治体等が主催の環境キャンペーンへの参加（家庭のアクション）の合計5件です。その他、天童・山形両工場の工業団地連絡協議会で実施している団地内の清掃作業への参加と、東北電力女川原子力発電所見学を通じて日本の電力・発電に理解を深め、毎月、社内全体集会の機会を利用して、環境活動を浸透させてきました。地産地消については、天童・山形両工場とも、社員の昼食として、地産地消をアピールポイントにしている地元の仕出し弁当業者を利用しています。また、山形交響楽団、パストラボ山形、YBCラジオの地域スポーツ応援番組への協賛など、地域の文化やスポーツを企業として応援しています。

6. 環境経営計画の取組結果の評価ならびに次年度の取組内容

《6-1》環境経営計画の取組状況の評価

○…十分に取組んだ △…ある程度取組んだ ×…取組不十分（未実施）_…評価保留
なお、(★)印付きの計画は、2020年度から新たに追加したものです。

取組項目	具体的活動計画	評価
二酸化炭素排出量の削減	■(★)炉繰りについて帳票を作成し、炉内製品充填率を上げる（浸炭は、その深さにより処理日を曜日ごとに固定する）	△
	■早朝、照明器具の消灯	○
	■昼休みや休憩時間帯も含め、不要な照明のこまめな消灯	○
	■照明器具の省エネ化（例：LED照明への切り替え）	△
	■エコドライブ研修会の開催	○
	■アイドルングや待機時間の短縮	△
廃棄物排出量の削減	■分別の徹底	○
	■コピー数量の削減	○
	■両面コピーや縮小コピーの励行	○
リサイクルの促進	■コピー用紙の両面使用	○
	■コピー用紙の再利用後、梱包材へ再利用	○
産業廃棄物の適正管理	■保管場所の管理	○
	■マニュアル・契約書類の管理	○
グリーン購入の推進	■購入事務用品グリーン購入対象品の確認	△
山形エコアクション21関連	■山形県環境保全協会への入会	○
	■受動喫煙防止宣言	○
	■「緑の募金」活動	○

○…十分に取組んだ △…ある程度取組んだ ×…取組不十分（未実施） ―…評価保留

取組項目		具体的活動計画	評価
総排水量の削減	水道使用量の削減	■(★)冷却用水槽の節水に向けて、締め具合のわかりやすいバルブに取り換える	△
		■(★)冷却用水槽の水漏れトラブルに備え、設備の日次点検簿にバルブの点検項目を追加し、チェックを行う	×
		■(★)冷却用水槽の水漏れトラブルに備え、年に3回の長期休暇明け後に配管点検を行う	○
		■(★)水処理設備のトラブル備え、日々の水質管理について再度、担当者の教育と習熟状況の確認を行う	×
		■(★)水処理設備のトラブルに備え、1カ月に2回、専門業者による水質調査を行う	○
		■(★)水処理設備のトラブルに備え、4カ月に1回、専門業者による定期点検を行う	○
	■手洗い時の節水（掲示）	○	
地下水の適正利用	■水量計を活用した地下水の適正利用	○	
製品・サービス関連	■環境でのクレーム件数をゼロにする	○	
	■(★)品質異常発生ゼロに向けて、全体集会で過去の異常事例の読み上げ確認や、基準を設けて異常が発生しやすい処理品に対し全部署で特別管理を行っていく	△	

《6-2》次年度の取組内容（方向性）

二酸化炭素排出量に係るエネルギー使用の削減については、一部の品目については削減できたものの、メインエネルギーである電力など、人為的には思うように削減できませんでした。また、廃棄物排出量、水使用量、化学物質使用量も増大してしまいました。目標未達成になった項目について、設備トラブルに起因するものも複数あり、生産面でも設備の予防保全を大きな課題と位置付けます。今後は、これまでの活動内容を継続するとともに、さらなる省エネ・省資源に新しい発想を持って取り組んでいくこととなります。また、社員全員が同じモチベーションを継続して共有できるよう、朝礼などでの啓蒙活動を増やしていきます。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

弊社に適用される環境関連法規等（廃棄物処理法・リサイクル法・浄化槽法・水質汚濁防止法・消防法・土壌汚染対策法・化管法・高圧ガス保安法・労働安全衛生法・公害防止組織法・省エネルギー法・RoHS指令）については、2020年1月5日付で、その遵守状況を確認したところ、違反状態は認められませんでした。提出義務のある各種届出も期限遵守のうえ適切になされています。また、外部からの訴訟等についても、会社創業以来一度もありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

《8-1》環境経営目標システムが有効に機能しているか

定期的に委員会・勉強会を開催し、その内容を全体集会で報告し、会社全体で環境負荷低減に取り組むという体制が浸透してきました。環境負荷低減の実現は、作業効率の改善や品質の安定が密接に関係しているため、今後はQCDS活動と上手くリンクさせるということを念頭にバックアップしてまいります。

《8-2》環境への取組は適切に実施されているか

今後は項目毎に生産活動の増減によって大きく結果が左右されるものとならないものに分け、その使用量・排出量を精査し、目標達成に向けた取り組みを行ってまいります。

この環境経営レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。また、エコアクション21認定取得後は、エコアクション21中央事務局のHP (<http://www.ea21.jp/>)でもご覧いただけます。

丸熱和 丸和熱処理 株式会社

〒994-0069 山形県天童市清池東二丁目8番20号

TEL : 023-655-2880 / FAX : 023-655-5203

E-mail maruwat-somu2@amail.plala.or.jp

担当:環境管理責任者 工場長 島山 和寛